

【認知症対応としての専門職の教育・育成に関する活動】

公益社団法人全国老人福祉施設協議会 副会長
特別養護老人ホーム白寿園 施設長 鴻江圭子

厚生労働省新推計によると、認知症高齢者の数は2002年時の推計から10年程度前倒しで推移しており、2012年現在すでに300万人に達し、2025年には470万人に達することが公表されている。

これを受けて、「認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）」が策定され、具体的な目標数値等が示されているが、「認知症有病率」のデータについては分析途中であり、今後さらに認知症高齢者数の推計は増加すると予想される。

今回の早期発見・早期治療を中心とした医療の集中的な支援体制構築によって、原因疾患の特定や適切な指導、助言及び治療・介護の方針決定に有効な関わりが期待できるとともに、その経過やケアの流れを重度化に至るまで共有し一元的にマネジメントするシステムの整備が急がれる。

特に、特別養護老人ホームでは年々利用者の重度化が進んでおり、さまざまな疾患や環境的、社会的要因の重複によって心身の状態が増悪しているケースも多く見受けられる中で、有効なケアの確立に必要なエビデンス及び実績は十分有していると考えられ、抗認知症薬の開発や薬物治療によるBPSDの緩和等に対しても、その効果の検証を含めてケアスタッフの知識習得や観察・記録の標準化を図ることによって医療と介護が両輪的に機能すると考えられる。

本会では、すでに実施した調査研究事業報告から下記の3点について課題提起をするとともに、各研修会及びセミナー等において広報啓発に努めているところである。

①認知症専門医の量、質の早急な確保及び認知症介護との連携・協働体制の構築

- ・ 認知症の早期発見、早期治療が予後に大きく関与するとともに、正確な診断が受けられていることによって、重度化してからも根拠あるケアが可能となる。
- ・ 認知症の初期に専門医による正確な診断がなされ、その情報が入所先まできちんと伝わるような医療と介護の連携システムの標準化が急がれる。

②認知症の正確な診断と脳画像診断による情報の積極的な評価

- ・ 脳画像診断が行われていたのは2割程度にとどまっているが、脳画像診断を行うことによって疾患名が特定されるケースが46.5%から72.6%に高まっており、医療情報として有効性が期待される。
- ・ 脳画像診断によって、治療が可能とされる正常圧水頭症や慢性硬膜下血腫等の認知症の診断が可能になり、より精度の高い認知症の診断が可能になる。

③「原因疾患を踏まえた個別ケア」の確立

- ・ 介護職、看護職が、認知症の原因疾患とその特徴に対する知識を習得し理解したうえで、個々の事例を科学的に考え、実践することが重要である。
- ・ 医療との適切な連携を進めるためには、介護職の記録、観察、変化への気づき等が大きな判断材料となり、利用者の尊厳を守る生活支援の視点において必要不可欠な役割を果たしていることから、常にフィードバックの関係性を維持することが重要である。

1. 調査研究事業

平成 22 年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）

特別養護老人ホームにおける認知症高齢者の原因疾患別アプローチとケアの在り方調査研究事業

平成 24 年度 特別養護老人ホームにおける認知症高齢者の原因疾患別モデルケアプラン調査研究事業

2. 研修事業

（１）認知症専門ケア力の向上に資する研修

【平成 21 年度】

① 認知症介護実践研修(実践者研修)	3 会場	141 名(うち非会員 2 名)
② 認知症介護実践研修(実践リーダー研修)	13 会場	315 名(うち非会員 64 名)

【平成 22 年度】

① 認知症介護実践研修(実践者研修)	5 会場	251 名(うち非会員 13 名)
② 認知症介護実践研修(実践リーダー研修)	9 会場	165 名(うち非会員 47 名)

【平成 23 年度】

① 認知症介護実践研修(実践者研修)	4 会場	179 名(うち非会員 40 名)
② 認知症介護実践研修(実践リーダー研修)	8 会場	207 名(うち非会員 30 名)

（２）専門性の向上に資する研修 ※認知症のテーマをプログラムに含む研修のみを抜粋

【平成 21 年度】

① 看護職員研修会（講義Ⅵ）	2 会場	386 名(うち非会員 0 名)
----------------	------	------------------

【平成 22 年度】

① 施設ケアマネジャー研修会（講義Ⅱ）	2 会場	747 名(うち非会員 3 名)
② 介護職員研修会（講義Ⅳ）	2 会場	580 名(うち非会員 6 名)
③課題別スキルアップ研修会	1 会場	153 名(うち非会員 0 名)

【平成 23 年度】

① 看護職員研修会（講義Ⅳ）	1 会場	346 名(うち非会員 0 名)
② 栄養ケア・マネジメント研修会（講義Ⅱ）	1 会場	463 名(うち非会員 1 名)
③ 施設ケアマネジャー研修会（講義Ⅳ）	1 会場	315 名(うち非会員 7 名)
④ 生活相談員研修会（講義Ⅲ）	1 会場	373 名(うち非会員 2 名)
⑤ 介護職専門研修会（講義Ⅱ）	1 会場	170 名(うち非会員 1 名)
⑥ 課題別スキルアップ研修会	1 会場	302 名(うち非会員 1 名)

（３）全国老人福祉施設大会・全国老人福祉施設研究会議

【平成 21 年度】

第 66 回全国老人福祉施設大会（千葉大会）	2,307 名
全国老人福祉施設研究会議（鹿児島会議）	2,818 名

【平成 22 年度】

第 67 回全国老人福祉施設大会（北海道大会）	2,032 名
全国老人福祉施設研究会議（富山会議）	2,682 名

【平成 23 年度】

第 68 回全国老人福祉施設大会（高知大会）	2,200 名
全国老人福祉施設研究会議（岡山会議）	3,200 名